

2021 年度 公益社団法人日本地すべり学会東北支部 第 37 回総会議事録

※本年度の支部総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止にため委任状による議決とし、支部総会は役員及び事務局によるリモート会議として執り行った。

開催日時：2021 年 5 月 14 日(金) 15：30～17：00

出席者：大河原支部長、高見副支部長、橋本監事、渋谷監事、瀬野幹事長、三嶋副幹事長、渡辺副幹事長、大村副幹事長、大澤事務局長

総会進行：大澤事務局長 議事進行：瀬野幹事長

参加者：リモート出席 4 名（正会員） 委任状 89 名 93 名

*定足数 84 名（会員数 167 名の 1/2 以上）を満たすことから、総会は成立すると事務局長より報告された。

1.開会

瀬野幹事長による開会の挨拶、ならびに本日の流れなどの事務連絡。

2.支部長挨拶

大河原支部長より総会に先立っての挨拶があった。

- ・令和 3 年度総会は対面形式で行いたかったが、コロナウイルス感染拡大の現状を見れば、このような形で開催せざるを得ず残念である。総会開催の準備に当たった事務局へ御礼を申し上げる。今後、ワクチン接種が進み令和 4 年度からが通常通りの開催ができることを期待する。
- ・活動内容や範囲に制約が課され思ったような活動ができないかもしれないが、工夫を凝らしてやれることをやっていくことが必要である。

3.議事

○第一号議案 2020 年度事業報告

- ・事業報告の説明（議案書 p1～4）
- ・2020 年度総会はコロナウイルス感染防止の観点から委任状による書面決議とし、当日は役員のためのオンライン形式で開催した。また、シンポジウム、意見交換会は中止した。
- ・役員会、幹事会、委員会についてもオンライン形式で開催した。
- ・運営委員会（2021/3/27）は議案書（案）を事前に運営委員に送付し承認をもらった。
- ・ワーキンググループ「斜面変動研究の次世代コロキウム」は、シンポジウムを兼ねてオンラインで開催(9/16)したほか、2 回のオンライン研修会(12/22、2/22)を開催した。事業は本部若手対策費を活用した。
- ・地すべり現地検討会はコロナウイルス感染予防のため中止し、令和 2 年度に延期するものとした。

- 災害調査として2021年2月13日に福島県沖で発生した地震に伴う、二本松市の地すべり災害(エビスサーキット)に対して、八木先生ほか5名が北海道支部及び関東支部と合同で現地調査を行った。調査結果は学会誌等で報告する予定である。
- 支部だより第31号を2020年12月に発行した。同じ所属会社の会員にはまとめて発送することで経費の節減を図った(印刷245部 発送245部)。
- 関連団体、地域貢献活動として、以下の活動を行った。

台風第19号災害合同学術調査団最終報告会 2020年12月20日開催 大河原支部長が報告
 (一社)斜面防災対策技術協会：地すべり防止工事士更新講習会への講師派遣 大河原支部長本報
 機関紙「山が動く」への投稿 濱崎英作氏 林一成氏

※第一号議案に関して委任状を含め質問や意見等は無く承認された。

○第二号議案 2020年度収支決算報告及び監査報告

- 大澤事務局長が収支決算報告内容についての説明した(議案書 p5~6)。
 今年度は協賛金を10000円/団体として協賛いただいている。
- 2020年度の収支決算は以下のとおりである。

収益 320,019円 支出 406,456円 差額 -86,437円

次期繰越額 1,806,546円 - 86,437円 = 31,581円(当期末収入金)

+ 18,100(前期前払金) = 1,706,628円

- 監事である橋本修一氏、渋谷 保氏が監査結果を報告した(議案書 p7)。

※第二号議案に関して委任状を含め質問や意見等は無く承認された。

○第三号議案 2021年度事業計画(案)

- 2021年度事業計画(案)の説明(議案書 p8~11)
- 役員会、幹事会、運営委員会及び各委員会の開催予定
- 支部若手技術者の技術的交流の場として、今年度も引き続き「斜面変動研究の次世代コロキウム」開催していくが、コロナウイルスの感染状況を見ながら少人数での対面開催やオンライン開催で計画する。参加者は随時公募しより多くの技術者の参加を促していく。
- 砂防学会東北支部との連携を持ちながら研修会を計画する。時期や形式については幹事会で立案する。
- 地すべりの継続的な現地調査や研究を行うための研究フィールドを設定し、若手を含む会員の技術向上と研究テーマの提供の可能性を企画する。
- 地すべり現地検討会は秋田県「崩ヶ沢地すべり」を予定しているが、コロナウイルスの影響を考慮せざるを得ない状況下にある。総会終了後に役員会で協議するものとする。

- ・災害調査、社会貢献活動、会勢拡大活動、他学協会との連携を推進する。
- ・支部だより第32号を2021年12月に発行予定である。会勢拡大活動の一環として、講師派遣などを通じた支部活動の広報、発信を行う。また、「地すべり調査・設計に関する技術講座」の開催を計画する。
- ・地形判読による地すべり地形の把握と危険度評価に関する研究成果を、広く一般に周知し普及させる目的で、「防災のための地すべり地形の読み解き方-斜面災害危険度評価ガイドブック」が2021年6月に発刊される予定である。
- ・アウトリーチ対策及び会員数対策の各連絡会と連携を図り、活動の在り方を検討していく。

第三号議案に関して委任状を含め質問や意見等は無く承認された。

○第四号議案 2021年度収支予算(案)

- ・収支予算(案)について、事務局より2020年度収支決算及び実情に合わせた計画としている旨を説明(議案書p12~13)。今年度も協賛金は10,000円/団体として計画している。
- ・現時点では現地検討会や技術講習会(コロキウム含む)などは対面開催を前提に予算計上しているが、オンライン開催となる場合、金額が大きく変化することを報告した。
- ・「支部費用_その他事業活動_その他」に書籍出版費として、支部負担分400,000円を計上している。
- ・収支予算見込みは以下のとおりである。

収益 530,050円 支出 1,440,000円 差額 -909,950円
 次期繰越額見込み 1,710,698円 - 909,950円 = 800,748円

第四号議案に関して委任状を含め質問や意見等は無く承認された。

○その他(議案書p13)

- ・代議員選挙結果を報告した。
- ・協賛金のお願いは総会終了後、3か月以内での対応をお願いしたい。協賛をいただいた団体、企業については支部だよりに掲載する。コロナウイルス感染拡大防止のため今年度事業を縮小せざるを得ないことから、今年度も10,000円とすることを決定した。協賛案内には今年度についても特例であることを明記する。

※その他事項に関して委任状を含め質問や意見等は無く承認された。

4.報告事項（議案書p17）

- 2021 年度本部開催事業について
- 連絡会の設置について

地すべり学会として広く一般に活動を認知してもらうことを目的としたアウトリーチ連絡会と、会勢拡大を目的とした会員数対策連絡会を設けることとなり、東北支部では以下を選出した。

アウトリーチ担当 黒墨秀行（総合土木コンサルタンツ）

会員数対策担当 瀬野孝浩（新東京ジオ・システム）

5.閉会

瀬野幹事長が総会の閉会を告げ終了した。



< 総会状況(事務局) >